

2 0 1 8 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜

1 事業の成果

① 一般社会に対する教育、啓発活動

ア 第26期ボランティア学校開催事業（A I D S文化フォーラム in 横浜参加事業）
エイズの知識をひろめ、一般市民への啓発を促進すること、教員、福祉関係者、電話相談員の研修やボランティア活動の人材養成を目的に毎年実施しており、専門的な分野を多岐にわたって学習できる内容で展開した。

今回は横浜サンセット21L.C.様からの寄付を宛てて、前年度と同様参加費を無料とした。延べ214名の参加があった。A N Y会員、電話相談員には研修の機会として有効であった、

会員外受講者が増え、新たな知見に触れることができ、研修、啓発の効果は大きかった。A I D S文化フォーラムでも好評であった。

イ 世界A I D Sデー in Yokohama 参加事業

11月17日（土）、横浜駅東口新都市プラザで開催。会場では、子ども向けのパズルを実施し、興味の喚起、集客を行った。また、通行する方に声をかけ、レッドリボンづくりをしてもらったり、展示スペースへの誘いをしたり、関心を引き起こす活動を行った。参加された方にはパンフレットを配布し、H I V・A I D Sの話をした。H I V、A I D Sへの関心を高められた。パズル105家族、リボン製作24名を集客できた。

ウ 出前講座講師派遣事業

若者、社会人を対象とした啓発活動として行っており、行政1、大学1、高等学校5、中学校2より依頼があり、9回開催した。

中学生から社会人まで、約1,900人弱の方に啓発ができた。中学、高校での講演後のアンケートでは好評であり、質問に対して、すぐに文書で回答をしていることも信頼につながっている。H I V、S T Iだけでなく、性教育的な内容に触れてほしいという要望にも応えている。

② 電話相談事業

横浜市より電話相談の一部を「夜間、休日電話相談」として委託を受けている。相談件数は昨年度並で、相談内容の構成比もあまり変わらないが、神経症的な方の相談数は減少傾向。年齢層は30代未満が多く、20代が最も多い。本会の特徴として、女性からの相談が多い。正しい知識が浸透していないだけでなく、インターネットの正誤とりまぜた情報に惑わされている状況で、電話相談での対話形式は、徒な不安感を解消し、ストレスを緩和するには、匿名性ということもあって、最適な手段である。

③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動

ア ニュースレターの発行

213～217号の5回発行した。本法人の活動の報告、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報などを掲載した。本法人のホームページにニュースレターをアップし、更新していることで、一般に向けてのH I V/A I D Sについての啓発、研修の機会となっている。

イ ホームページ公開、更新事業

ホームページ閲覧者を視野にH I V/A I D Sの理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ホームページについては広く閲覧されているようで、問い合わせ、資料請求などがある。

④ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

ア 財務部

寄付金の受付と補助金の獲得などに努めた。今年度はある団体から創立周年記念の特別寄付金を戴き、寄付金額が増加した。イベント開催やパンフレットの更新・作成のための「行事積立金」に300,000円を積み立てることができた。

イ 事務局

特定非営利活動に係る事業に必要な諸手続き、調整、連絡などを日常的に行い、活動の立案、情報交換、調整を検討する運営委員会を、8月を除く毎月開催した。本法人の円滑な運営に貢献した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

ア ボランティア学校開催事業、AIDS文化フォーラム in 横浜参加事業

- ・内 容 HIV、AIDSに関する様々な分野の10講座を、講師8名から5日間で実施
- ・日 時 7月～9月
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
神奈川県民センター（AIDS文化フォーラム in 横浜）
- ・従事者人員 延べ48人
- ・受益対象者 一般社会人、本法人電話相談員・会員 延べ214人
- ・支 出 額 245,991円

イ 世界AIDSデー in Yokohama 参加事業

- ・内 容 レッドリボン製作、子供向けパズル遊び、パンフレット配布。
パズル105家族、リボン製作24名を集客した。他にも、クイズやビデオ上映、マスコットキャラクター活動に協力。
- ・日 時 11月17日（土）
- ・場 所 横浜駅東口新都市プラザ
- ・従事者人員 延べ30人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 39,888円

ウ 出前講座事業

- ・内 容 学生、成人に対する啓発講演活動で、学校を中心に9回実施。
- ・日 時 通年。要請により実施。
- ・場 所 要請者が指定する場所。多くは体育館、教室。
- ・従事者人員 延べ24人（打ち合わせ含む）
- ・受益対象者 中・高生徒、大学生、社会人 約1,900人
- ・支 出 額 81,658円

エ 行事積立金事業

- ・内 容 イベント開催、パンフレット更新のための資金を積み立てる。
- ・受益対象者 一般市民多数が想定される。
- ・支 出 額 300,000円

② 電話相談事業

- ・内 容 一般市民からのHIV、AIDSにかかわる電話相談。
- ・日 時 毎週、水（18:00～21:00）、土（15:00～18:00） 計95回
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ255人（事務作業、研修活動を含む）

- ・受益対象者 一般市民755人
 - ・支出額 293,693円
- ③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業
- ア ニュースレター発行事業
- ・内容 会員・関係者に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。
 - ・日時 年間5回発行
 - ・場所 横浜AIDS市民活動センター
 - ・従事者人員 延べ17人
 - ・受益対象者 会員および関係団体。次のイにより一般市民多数。
- イ ホームページ公開、更新事業
- ・内容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュースレターや、様々な情報を公開。
 - ・日時 通年
 - ・場所 横浜AIDS市民活動センター
 - ・従事者人員 延べ11人
 - ・受益対象者 一般市民多数
 - ・ア、イの支出額計 119,015円
- ④ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）
- ・内容 会計・書類作成・提出などの事務的業務。運営委員会による、企画・調整業務。
 - ・日時 通年
 - ・場所 横浜AIDS市民活動センター内法人事務所
 - ・従事者人員 延べ160名
 - ・受益対象者 一般市民多数
 - ・支出額 155,863円